（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	令和７年度　鳥居峠古道登山道整備事業
事業主体 （連絡先）	中山道鳥居峠観光宣伝協議会 長野県塩尻市大門八番町 13-10
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,092,000 円（うち支援金：2,920,000 円）

事 業 内 容

訪問者数が増加している鳥居峠の整備作業を参加型イベント化して販売する事業を実施。モニターツアー2回（9 月 4 日、9 月 19 日）実施。販売に向けてツアーの流れ、整備箇所の選定を確認。整備イベント 2 回（11 月 2 日、11 月 7 日）販売。18 名、16 名にご参加いただく。地元住民の方と協働し、整備が必要な場所や修繕が必要な箇所で一緒に作業を行い、イベント参加者と地元住民が交流する機会となった。

また、本協議会を中心として、参加型イベントを運営できる体制づくりを進め、事業スキームを構築した。

【古道の整備作業の様子】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

初年度のゴールを、①運営体制の構築、②モニターツアーを通じた地元学生との関係構築、③イベントを通じた地元住民の方の事業への理解と設定したが、十分達成できた。

また、中山道を歩くことを趣味にしている方に、自分の趣味の場を守っていくことにつながるイベントとして賛同いただいた。

【目標・ねらい】

①運営体制の構築
②モニターツアーを通じた地元学生との関係構築
③イベントを通じた地元住民の方の事業への理解

※自己評価【　A　】

【理由】
３つのねらい（①運営体制の構築、②地元学生との関係構築③地元住民の方の事業への理解）を計画。予定どおりの結果を得ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

2 年目は、初年度の課題の修正を行い、本事業を実施する。

３つの事業（①看板の設置、②PR、③事業スキームの構築と体制づくり）を計画しているが、初年度の今年度は、③を中心に進めたが、①・②についても、今後進めていきたい。

2 年間の販売実績を見て、販売目標の見直しや収益化を図り、規模の拡大を継続的に図っていく。身の丈に合った運用のできる形で 3 年目を目指していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある